



辻 の 風 景

山之上の「柿ノ木下」(山之上町)

十三

みのかも文化の森の東、山之上町と蜂屋町の境には、南北に延びる道と川辺方面からの道が合流する「柿ノ木下」と呼ばれる場所があります。ここには以前、幹がひと抱えもある太い渋柿の木があり、行きかう人々を見守っていました。

「おばあちゃんが、嫁入りの時に持ってきた道具を柿の木の下で嫁ぎ先の人に渡したそうやわ。ここはそのころからまったく変わらんと、私が子どもころ、よう話しとった。けれども、柿の木は20年ぐらい前に倒れてしまったわ」と、地域の方は語ってくれました。

※柿の木は、写真中央の電柱のところにありました